

## 平成 27 年度定時社員総会

### 平成 27 年度定時社員総会

開催日時 平成 27 年 6 月 13 日 13 時 00 分から 13 時 50 分まで

開催場所 横浜市西区みなとみらい 1-1-1 パシフィコ横浜 3 階 A 会場

#### 議事の経過および結果

下門顕太郎会長が議長となり、この定時社員総会は社員 642 名中 456 名（出席 66 名・委任状出席 390 名）の出席があり、第 40 条 1 項に規定する定足数に達したので、有効に成立した旨を告げ議題に入った。

次記事項が異議なく承認可決された。

#### 第 1 議案 議事録署名人選任の件

大内尉義氏、鳥羽研二氏の 2 名が選出された。

#### 第 2 議案 平成 26 年度事業報告、収支決算及び財産目録に関する件

議長は平成 26 年度事業報告、庶務の概要、会員の異動情報（466 頁参照）を報告し、承認された。続いて楽木宏実財務委員長は、平成 26 年度収支決算報告、正味財産増減計画書、貸借対照表、財産目録（469 頁参照）を説明した。次に監事を代表して海老原覚監事より、平成 26 年度事業報告書、収支決算書、及び財産目録等について、いずれも法令及び定款に照らして正当であることを認める旨の報告があった。次いで議長はその承認を議場に諮ったところ、満場一致で承認された。

#### 第 3 議案 平成 27 年度事業計画及び収支予算の件

議長は理事会で承認を得ている平成 27 年度事業計画（471 頁参照）について報告し、了承された。続いて楽木宏実財務委員長は、理事会で承認を得ている平成 27 年度収支予算書（473 頁参照）を報告し、承認された。

#### 第 4 議案 代議員及び役員選任の件（52 巻 3 号 297 頁参照）

議長の指名により森本茂人選挙管理委員会委員長が、配布した資料により平成 26 年 7 月から 9 月に実施された代議員選挙の選出の経緯及び結果について説明した。次いで議長はその結果による代議員選任を議場に諮ったところ、満場一致で承認された。

次に議長は、定款細則第 6 条の規定により平成 27 年 6 月 13 日をもって大内尉義理事長が辞任される旨を報告し承認された。

続いて議長は、現役員は定款第 22 条の規定により平成 27 年 6 月 13 日をもって任期満了となるので、その後任理事を秋下雅弘氏、荒井秀典氏、荒井啓行氏、犬塚貴氏、北岡裕章氏、葛谷雅文氏、神崎恒一氏、下門顕太郎氏、下濱俊氏、高柳涼一氏、鳥羽研二氏、羽生春夫氏、松林公蔵氏、三木哲郎氏、森本茂人氏、山口修平氏、横手幸太郎氏、横出正之氏、楽木宏実氏を重任の理事とし、海老原覚氏（東邦大学教授）を新任の理事として推薦する旨の提案があり、その選任を議場に諮ったところ、各氏を理事として選任することが満場一致で承認された。ついで監事は、大石充氏、山田祐一郎氏を重任の監事とし、新村健氏（兵庫医科大学教授）を新任監事として推薦する旨の提案があり、議場に諮ったところ、各氏を監事として選任することが満場一致で承認された。

また議長は、選任された理事の中から理事長が互選されることを説明し、平成 27 年度定時社員総会終了後に開かれる新役員による理事会で理事長を選任することが了承された。

#### 第 5 議案 名誉会員及び特別会員選任の件（52 巻 3 号 297 頁参照）

議長は名誉会員推薦について、定款第 7 条及び定款細則第 3 条 1 項の規定に従い、井藤英喜氏、大島伸一氏、松本正幸氏を平成 27 年 6 月 14 日付けで名誉会員とすることを議場に諮ったところ、承認された。

ついで議長は特別会員について、定款第 7 条及び定款細則第 3 条 3 項に従い、梅田正法氏、鶴山治氏、大鈴木孝氏、木田厚瑞氏、葛原茂樹氏、佐久間長彦氏、重政千秋氏、重本六男氏、高橋洋一氏、田邊晃久氏、永井俊彦氏、安原一氏、西澤良記氏を平成 27 年 6 月 14 日付けで特別会員とすることを議場に諮ったところ、承認された。

#### 第 6 議案 学術集會会長の件

議長は定款第 44 条に従い、平成 31 年度学術集會会長に理事会から推薦を受けた荒井啓行理事を選任したい旨、議場に諮ったところ、承認された。

#### 第7議案 日本老年学会の件

議長は日本老年学会名誉会員に、日本老年医学会名誉会員の井口昭久氏、萩原俊男氏、斎藤康氏を推薦し、その後任理事に江藤文夫氏、葛谷雅文氏、楽木宏実氏を推薦することを議場に諮ったところ、承認された。次いで議長は、日本老年学会会長候補推薦委員会規定に従い、平成31年度第31回日本老年学会会長に日本老年医学会名誉会員佐々木英忠氏を推薦することを議場に諮ったところ、承認された。

#### 諸報告

1) 各種委員会から活動状況（474頁参照）について報告された。

2) 地方会について

議長は9支部地方会の開催状況について報告した。

3) 学術集会準備報告

平成28年度学術集会開催準備状況について森本茂人会長が報告した。

平成29年度学術集会開催準備状況について鳥羽研二会長が報告した。

平成30年度学術集会開催準備状況について横出正之会長が報告した。

4) その他

和文誌及び英文誌の優秀論文賞受賞者が平成27年6月11日開催の理事会において決定されたことが報告された（52巻3号301頁掲載）。

大内理事長から「日本老年医学会 老化および老年医学研究助成」の創設について説明があった。

大内理事長から老年学会と老年医学会でのワーキングを踏まえ、日本老年学会から声明を出したことが報告された。

## 平成26年度事業報告

### I. 庶務の概要

#### 1. 会員の異動状況(平成27年3月31日現在)

##### 1) 会員の異動

	前年度末	入会	退会	物故者	現在数
会員数	6,065	386	407	19	6,025
(正会員・名誉会員・特別会員)					

名誉会員	24	-	-	1	23
特別会員	103	-	5	1	97
賛助会員	18	-	-	-	18

##### 2) 役員等の異動

	前年度末	新任	退任	物故者	現在数
理事	20	5	5	-	20
監事	2	3	2	-	3
幹事	3	4	1	-	6
代議員	651	-	5	4	642
事務職員	4	-	-	-	4

##### 3) 物故会員(敬称略)

名誉会員	田中健蔵				
特別会員	染谷一彦				
代議員	上田清悟	鬼倉俊一郎	杉謙一	波多丈	
正会員	伊東浩路	稲葉光	猪股文岳	岩崎祐三	
	宇野文平	大島幸吉郎	大平基之	坂東玲芳	
	松田孝治	村上政夫	山上久	山下英年	
	横江康夫	(連絡のあった方のみ)			

#### 2. 会議の事項

- 総会: 平成26年6月12日 福岡県・福岡国際会議場
- 理事会: 平成26年5月23日 東京都・日本老年医学会事務所より持回り  
平成26年6月11日 福岡県・福岡国際会議場  
平成26年11月21日 東京都・日本老年医学会事務所より持回り  
平成26年12月16日 東京都・日本老年医学会事務所より持回り  
平成27年1月31日 東京都・ステーションコンファレンス東京  
平成27年2月19日 東京都・日本老年医学会事務所より持回り
- あり方委員会:  
平成26年5月2日 東京都・日本老年医学会事務所より持回り  
平成26年6月11日 福岡県・福岡国際会議場  
平成27年1月31日 東京都・ステーションコンファレンス東京
- 財務委員会:  
平成26年6月11日 福岡県・福岡国際会議場  
平成27年1月31日 東京都・ステーションコンファレンス東京
- 雑誌編集委員会:  
平成26年6月11日 福岡県・福岡国際会議場  
平成27年1月31日 東京都・ステーションコンファレンス東京
- GGI 編集委員会:  
平成26年6月12日 福岡県・福岡国際会議場  
平成27年1月31日 東京都・ステーションコンファレンス東京
- 老人医療委員会:  
平成26年6月11日 福岡県・福岡国際会議場

- 平成27年1月31日 東京都・ステーションコンファレンス東京
- 利益相反委員会:  
平成27年1月23日 東京都・日本老年医学会事務所
  - 介護連携検討委員会:  
平成26年6月12日 福岡県・福岡国際会議場  
平成26年9月16日 東京都・日本老年医学会事務所
  - 教育委員会:  
平成26年6月11日 福岡県・福岡国際会議場  
平成26年9月10日 東京都・日本老年医学会事務所  
平成27年1月31日 東京都・ステーションコンファレンス東京
  - 専門医ワーキング:  
平成26年12月25日 東京都・日本老年医学会事務所およびWeb会議  
平成27年1月26日 東京都・日本老年医学会事務所およびWeb会議
  - 事例検討委員会:  
平成26年5月12日 東京都・日本老年医学会事務局  
平成26年11月18日 東京都・日本老年医学会事務局
  - 学術プログラム委員会:  
平成26年6月11日 福岡県・福岡国際会議場  
平成26年9月30日 東京都・日本老年医学会事務所  
平成27年3月5日 東京都・日本老年医学会事務所
  - 学会賞委員会:  
1) 優秀論文賞選考委員会:  
平成26年5月3日 福岡県・九州大学より持回り  
2) ハルティス老化および老年医学研究基金選考委員会:  
平成27年1月31日 東京都・ステーションコンファレンス東京
  - 国際・渉外委員会:  
平成26年6月11日 福岡県・福岡国際会議場  
平成27年1月31日 東京都・ステーションコンファレンス東京
  - 広報委員会:  
平成26年6月13日 福岡県・福岡国際会議場
  - 高齢者EBM委員会(EWTOPIA75 試験推進会議):  
平成26年6月12日 福岡県・福岡国際会議場  
平成27年1月31日 東京都・ステーションコンファレンス東京
  - 選挙管理委員会:  
平成26年6月11日 福岡県・福岡国際会議場
  - 在宅医療委員会:  
平成26年6月13日 福岡県・福岡国際会議場  
平成26年9月5日 東京都・日本老年医学会事務所(在宅医学会との共同委員会)  
平成26年9月25日 東京都・日本老年医学会事務所より持回り
  - 高齢者に関する定義検討ワーキング:  
平成26年11月26日 東京都・日本老年医学会事務所  
平成27年2月10日 東京都・日本老年医学会事務所
- #### II. 事業の状況
- 学術集会等の開催(定款第6条1項)
    - 日本老年医学会年次学術集会  
第56回日本老年医学会学術集会  
会期:2014年6月12日(木)~14日(土)  
会長:高柳涼一(九州大学大学院医学研究院病態制御内科学)  
会場:福岡国際会議場(福岡市博多区)  
参加者数:1841名  
学会テーマ:老年医学に基づく高齢者医療の普及をめざして  
会長講演:高齢者のより良いQOLを目指した生活習慣病対策-骨粗鬆症と糖尿病を中心に-  
招請講演2題及び特別講演2題、シンポジウム9題、パネルディスカッション3題、教育講演18題、Aging Science Forum、若手企画、日韓合同シンポジウム、ハルティス老化および老年医学

研究基金 2012 年度受賞者講演 5 題、高齢者医療研修会、市民公開講座 1 題、ランチョンセミナー 22 題、イブニングセミナー 2 題、スポンサー共催企画 2 題  
一般演題数:289 題

2) 日本老年医学会地方学術集会

第 25 回北海道地方会

会期:2014.6.7  
会場:札幌医科大学 記念ホール  
会長:羽根田俊(北海道社会事業協会富良野病院)  
発表演題:7 題  
教育講演:JSH2014 における高齢者高血圧の管理 島本和明(札幌医科大学)  
参加者:57 名

第 25 回東北地方会

会期:2014.10.11~12  
会場:コアッセふくしま  
会長:大平弘正(福島県立医科大学消化器・リウマチ膠原病内科)  
発表演題:25 題  
特別講演:性差から考えるフレイルの予防と治療 秋下雅弘(東京大学加齢医学)  
指定講演:慢性心不全における脳の構造・機能に関する臨床研究(第 56 回日本老年医学会優秀演題賞受賞演題) 鈴木秀明(東北大学循環器内科)  
参加者:98 名

第 60 回関東甲信越地方会

会期:2014.9.20  
会場:杏林大学医学部付属病院 第 2 病棟 4 階 大学院講堂  
会長:神崎恒一(杏林大学医学部高齢医学)  
発表演題:21 題  
特別講演:加速する高齢化の中で「治し、支える医療」とは: ~『Aging in Place』を目指して~ 飯島勝矢(東京大学高齢社会総合研究機構)  
教育講演:地域における高齢者の食支援 菊谷武(日本歯科大学大学院生命歯学研究科臨床口腔機能学)  
ランチョンセミナー:精神科から見た認知症医療 小田原俊成(横浜国立大学附属市民総合医療センター精神医療センター)  
シンポジウム:今後の大学病院における高齢者診療を見据えて  
参加者:179 名

第 61 回 関東甲信越地方会

会期:2015.3.21  
会場:公立学校共済組合 関東中央病院 2 階講堂  
会長:水野有三(関東中央病院・代謝内分泌内科)  
発表演題:25 題  
特別講演:病理解剖からみたヒトの老化の形態学 ~呼吸器の老化を中心に~ 岡輝明(関東中央病院病理科)  
教育講演:パーキンソン病と類縁疾患:診断と治療の進歩 稲葉彰(関東中央病院神経内科)  
ランチョンセミナー:超高齢化社会における骨折予防をめざす骨粗鬆症の診療 ~他職種連携の意義と実践にむけて~ 細井孝之(健康院クリニック)  
アフタヌーンセミナー:その人らしい最期を支える 佐野広美(医療法人財団慈生会野村病院診療部) 秋山正子(株式会社ケアーズ) 白十字訪問看護ステーション・暮らしの保健室)  
参加者:202 名

第 25 回東海地方会

会期:2014.10.4  
会場:名古屋大学医学部附属病院 中央診療棟 3 階 講堂

会長:遠藤英俊(国立長寿医療研究センター内科総合診療部)  
発表演題:24 題

教育企画:老年医学のトピックス 座長 鷲見幸彦(国立長寿医療研究センター脳機能診療部)

シンポジウム:超高齢社会におけるサルコペニア・フレイルの疫学  
座長 犬塚貴(岐阜大学大学院医学系研究科 神経内科・老年学分野) 富本秀和(三重大学大学院医学系研究科 神経病態内科学)

特別講演:認知症予防と介入研究 鈴木隆雄(国立長寿医療研究センター)

参加者:163 名

第 25 回北陸地方会

会期:2014.10.25  
会場:金沢医科大学病院 新館 12F 大会議室  
会長:岩井邦充(金沢医科大学・高齢医学)  
発表演題:19 題  
教育講演:エピソード:現代人の生命のプログラム 中尾光善(熊本大学発生医学研究所 細胞医学分野)  
市民公開講座:2014.10.26 金沢市近江町交流プラザ 日本社会の超高齢化に向けて:高齢者のこころに向き合う終わりへの存在に本来形はあるか ~ハイテグの死の分析から出発して~ 森一郎(東北大学大学院情報科学研究科人間情報哲学分野) ブータンの仏教思想と社会制度に学ぶこと 熊谷誠慈(京都大学こころの未来研究センター ブータン学研究室)  
参加者:62 名

第 25 回近畿地方会

会期:2014.10.11  
会場:和歌山県立医科大学紀三井寺キャンパス基礎教育棟 3 階 生涯研修センター  
会長:羽野卓三(和歌山県立医科大学医学教育・集団医療学)  
発表演題:31 題  
特別講演:市中肺炎の診断・治療と予防 吉田耕一郎(近畿大学医学部附属病院 安全管理部感染対策室)  
市民公開講座:超高齢化社会の健康長寿をめざして 高齢の糖尿病患者さんが増えています ~その予防・治療法を考える~ 佐々木秀行(和歌山県立医科大学附属病院 紀北分院 内科) 脳のはたらき ~認知症になると何ができなくなるのか~ 廣西昌也(和歌山県立医科大学 神経内科) 不老長寿は無理でも、寿命まで元気である方法 田島文博(和歌山県立医科大学みらい医療推進センター・和歌山県立医科大学リハビリテーション医学)  
参加者:80 名

第 26 回中国地方会

会期:2014.11.8  
会場:島根大学医学部臨床大講堂  
会長:山口修平(島根大学医学部 内科学講座内科学第三)  
発表演題:15 題  
特別講演:松林公蔵(京都大学東南アジア研究所)  
参加者:67 名

第 26 回四国地方会

会期:2015.2.22  
会場:高知市文化プラザかるぼーと 11 階 大講義室  
会長:山田光俊(独立行政法人地域医療機能推進機構 高知西病院)  
発表演題:21 題  
特別講演 I :高齢者の降圧治療:ガイドラインから個別療法へ 苅尾七臣(自治医科大学内科学講座循環器内科学部門)  
教育講演 I :高齢者とその家族とのコミュニケーションをうまくやるには 一家庭医療の立場から~ 松下明(社会医療法人清風会 岡山家庭医療センター) 教育講演 II :心臓血管外科か

らみた高齢者医療の pitfall 渡橋和政(高知大学医学部外科学(外科二)講座) ランチョンセミナー:認知症治療の進歩と問題点 中村祐(香川大学医学部精神神経医学講座)

参加者:87名

#### 第25回九州地方会

会期:2015.3.7

会場:九州大学コラホ・ステーション I

会長:井口登與志(九州大学先端融合医療ドックスナビ研究拠点)

発表演題:34題

特別講演:ω3多価不飽和脂肪酸による血管内皮保護作用  
西尾善彦(鹿児島大学大学院 糖尿病・内分泌内科学)

シンポジウム:これからの抗加齢医療 座長 井林雪郎、大中佳三

ランチョンセミナー:オレキシンとは?睡眠覚醒調節における役割について 山中章弘(名古屋大学環境医学研究所 ストレス受容・応答研究部門神経系分野II)

参加者:107名

#### 3)第18回 高齢者介護・看護・医療フォーラム(定款第6条6項)

会期:2014.11.1

会場:札幌医科大学 記念ホール

世話人:下濱俊(札幌医科大学 神経内科教授)

#### 4)第8回老年医学サマーセミナー(医学部学生4年生から6年生が参加対象)(定款第6条7項)

会期:2014.7.31~8.1

開催地:軽井沢プリンスホテルウエスト

主催:日本老年医学会・国立長寿医療研究センター

参加者:13名

#### 5)高齢者医療研修会(定款第6条7項)

① 座学形式。修了書発行を受けるには12項目・8時間の受講が必須

平成26年6月14日:福岡市で第56回学術集会主催(参加者98名)

平成26年11月8日:東京で全日本病院協会に協力(参加者100名)

平成27年2月7日:名古屋市で東海支部主催(参加者76名)

② ワークショップ形式。修了書発行を受けるには8時間の受講が必須

平成26年6月15日:福岡市で第56回学術集会主催(参加者88名)

平成26年11月9日:東京で全日本病院協会に協力(参加者100名)

平成27年2月8日:名古屋市で東海支部主催(参加者62名)

#### 2. 学会誌その他の出版物の刊行(定款第6条2項)

1. 学会誌「日本老年医学会雑誌」

1) 定期号 第51巻3号~6号及び第52巻1号 合計5冊を発行した。

2) Supplement 第56回学術集会講演抄録集として第51巻の Supplement を5月に発行した。

2. 英文誌「Geriatrics and Gerontology International」(GGI)(正式略称 Geriatr Gerontol Int)

1) Volume14 Issue2~Issue4の3冊及びオンライン Volume 15 Issue1 を発行した。

#### 3. 学会認定 老年病専門医、指導医、教育施設の認定(定款第6条3項)

##### 1) 老年病専門医の認定

日本老年医学会認定 老年病専門医制度規則により第23回老年病専門医試験を平成26年7月13日、都市センターホ

テル(東京都千代田区)において実施した。

審議会において試験合格者を決定し、教育委員会、理事会の議を経て18名を認定した。

##### 2) 指導医の委嘱

日本老年医学会認定 老年病専門医制度規則により提出された指導医申請書類の審査を実施し、新たに24名を認定し委嘱した。

##### 3) 教育施設の認定

日本老年医学会認定 老年病専門医制度規則により提出された認定施設申請書類の審査を実施し、新たに8施設を認定した。

4) 平成26年3月31日の時点で認定を受けた日から満5年を経る老年病専門医、指導医、認定施設に対し、日本老年医学会認定 老年病専門医制度規則により提出された書類の審査を実施し、専門医 298名、指導医81名、認定施設31施設の更新を認定した。

#### 4. 研究の奨励、研究業績の表彰(定款第6条4項)

##### 1) 第21回日本老年医学会優秀論文賞

日本老年医学会雑誌第50巻1号から6号(平成25年1月~11月発行)に掲載された論文の中から選考し、金憲経、長谷川潤、藤澤豊の3会員を日本老年医学会優秀論文賞受賞者として平成26年6月12日の総会において顕彰した。

##### 2) 第5回 Geriatrics & Gerontology International 優秀論文賞

GGI 誌 Volume13に掲載された論文の中から選考し、Minoru Takemoto, Yumi Kimura, Yoshimi Tanimoto の3名をGeriatrics & Gerontology International 優秀論文賞受賞者として平成26年6月12日の総会において顕彰した。

##### 3) 「ノバルティス老化および老年医学研究基金」研究助成金の受領該当者の選考

平成27年1月31日の選考委員会により選考された会員:池田和博、金子佳賢、篠崎昇平、鷹見洋一

##### 5. 内外の関連学術団体との連絡及び協力(定款第6条5項)

1) 加盟学術団体である日本老年学会の運営を日本老年社会科学会、日本基礎老化学会、日本老年歯科医学会、日本老年精神医学会、日本ケアマネジメント学会、日本老年看護学会と共に協議協力した。

##### 2) 日本老年学会として加盟している国際老年学協会

International Association of Gerontology and Geriatrics(IAGG)の活動に参加協力した。

3) The 5th IAGG Master Class on Ageing in Asia が2014年6月23日~25日にソウルで開催され日本から6名が出席した。

The 6th IAGG Master Class on Ageing in Asiaが2015年3月26日~28日に台北で開催され日本からは5名が出席した。

##### 4) 第10回長寿医療センター国際シンポジウムを後援

会期: 2015年 2月7日

開催場所:愛知県 あいち健康プラザ

##### 6. その他、目的を達成するために必要な事業(定款第6条8項)

各種委員会(あり方委員会、財務委員会、雑誌編集委員会、GGI編集委員会、老人医療委員会、高齢者薬物療法のガイドライン作成のためのワーキンググループ、倫理委員会、利益相反委員会、介護連携検討委員会、教育委員会、専門医ワーキンググループ、事例集検討委員会、学術プログラム委員会、優秀論文賞選考委員会、ノバルティス老化および老年医学研究基金選考委員会、国際・渉外委員会、広報委員会、高齢者EBM委員会、選挙管理委員会、高齢者災害医療委員会、在宅医療委員会、高齢者に関する定義検討ワーキング)を開催し本会の目的を達成するため種々の検討が行われ活動が行われた。

I. 収支計算書  
(自平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

科目	千算額	決算額	増減	備考
1. 事業活動収支の部				
(1) 事業活動収入	( 6,000 )	( 5,000 )	( 1,000 )	
基本財産運用収入	6,000	5,000	1,000	
(2) 正会費収入	( 81,100,000 )	( 83,609,000 )	( △ 2,509,000 )	
正会費収入	79,400,000	81,809,000	△ 2,409,000	
賛助会費収入	1,700,000	1,800,000	△ 100,000	
(3) 事業収入	( 121,450,000 )	( 133,391,091 )	( △ 11,941,091 )	
学術集會収入	18,000,000	19,062,000	△ 1,062,000	
参加費収入	16,000,000	37,065,000	△ 21,065,000	
施設費収入	32,000,000	25,387,231	6,612,769	
支部・地方会費収入	25,000,000	33,103,676	△ 8,103,676	
会誌発行収入	3,000,000	2,495,145	594,855	
広告掲載料収入	2,400,000	143,180	2,256,820	
書籍頒布代収入	1,000,000	3,519,390	△ 2,519,390	
専門医制度収入	1,200,000	439,920	760,080	
専門医審査料収入	1,500,000	540,000	960,000	
専門医更新料収入	6,000,000	6,040,000	△ 40,000	
グループ解答用紙収入	300,000	760,000	△ 460,000	
雑収入	50,000	330,735	△ 280,735	
研修会収入	2,000,000	1,557,393	442,607	
老人保健施設管理医師研修会収入	10,000,000	1,205,021	8,794,979	
(4) 補助金収入	( 17,500,000 )	( 0 )	( 17,500,000 )	
長寿医療研究開発費収入	17,500,000	0	17,500,000	
(5) 寄付金収入	( 10,000,000 )	( 10,000,000 )	( 0 )	
寄付金収入	10,000,000	10,000,000	0	
(6) 雑収入	( 2,050,000 )	( 49,982 )	( 2,000,018 )	
受取利息収入	50,000	46,982	3,018	
雑収入	2,000,000	3,000	1,997,000	
事業活動収入計(A)	232,106,000	227,055,073	5,050,927	
2. 事業活動支出の部				
(1) 事業活動費用	( 217,520,000 )	( 174,405,936 )	( △ 43,114,064 )	
学術集會等開催事業費支出	55,000,000	62,530,495	△ 7,530,495	
学術集會運営費支出	9,898,065	9,898,065	0	
学術集會会場費支出	3,000,000	3,129,491	△ 129,491	
地方会運営費支出	1,600,000	900,000	700,000	
教育企画運営費支出	25,000,000	32,007,064	△ 7,007,064	
支部・地方会費支出	18,000,000	13,768,794	4,231,206	
会誌印刷製本費支出	5,000,000	4,012,609	987,391	
会誌通信運搬費支出	1,000,000	856,957	143,043	
会誌編集費支出	15,820,000	10,521,256	5,298,744	
英文誌発行費支出	9,000,000	8,063,078	936,922	
専門医制度運営費支出	1,200,000	931,120	268,880	
試験実施費支出	200,000	0	200,000	
電算機プログラム作成費支出	2,000,000	468,728	1,531,272	
研修会費支出	10,000,000	0	10,000,000	
老人保健施設管理医師研修会費支出	0	0	0	
学生・研修医会費支出	600,000	600,000	0	
研究奨励事業費支出	10,000,000	9,000,000	1,000,000	
研究奨励論文賞費支出	17,500,000	17,500,000	0	
加盟学術団体負担金支出	1,400,000	1,746,150	△ 346,150	
啓発事業費支出	9,500,000	7,204,628	2,295,372	
国際交流事業費支出	1,500,000	435,150	1,064,850	
国際交流事業費支出	1,000,000	1,032,602	967,298	
遊覧関係費支出	1,000,000	535,600	464,400	
会議費支出	1,500,000	829,789	670,211	
旅費交通費支出	3,000,000	3,701,775	△ 701,775	
通信運搬費支出	1,500,000	978,083	521,917	
印刷製本費支出	1,200,000	945,016	254,984	
消耗品費支出	1,000,000	309,486	690,514	
2. 管理費支出	( 86,750,000 )	( 42,615,736 )	( △ 44,134,264 )	
人件費支出	24,000,000	16,632,426	7,367,574	
福利厚生費支出	4,000,000	3,299,938	700,062	
旅費交通費支出	2,200,000	1,971,493	228,507	
会議費支出	1,200,000	655,326	544,674	
通信運搬費支出	2,000,000	1,103,985	896,015	
印刷製本費支出	1,000,000	821,487	178,513	
消耗品費支出	7,600,000	4,211,129	3,388,871	
光熱水料支出	700,000	654,105	45,895	
賃借料支出	7,800,000	8,412,307	△ 612,307	
事務機器使用料支出	900,000	604,800	295,200	
委託料支出	3,300,000	3,130,195	169,805	
電算機保守料等支出	1,000,000	888,545	111,455	
加盟団体負担金支出	250,000	230,000	20,000	
電算機プログラム作成費支出	500,000	0	500,000	
雑費支出	300,000	0	300,000	
事業活動支出計(B)	274,270,000	217,021,672	57,248,328	
事業活動収支差額(C)=(A)-(B)	△ 42,164,000	10,033,401	△ 52,197,401	
II. 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入	( 9,000,000 )	( 0 )	( 9,000,000 )	
(1) 特定資産取崩収入	5,000,000	0	5,000,000	
研究助成金取崩収入	2,000,000	0	2,000,000	
設備購入取崩収入	2,000,000	0	2,000,000	
投資活動収入計(D)	9,000,000	0	9,000,000	
2. 投資活動支出	( 1,200,000 )	( 4,043,253 )	( △ 2,843,253 )	
(1) 特定資産取得支出	1,200,000	2,946,641	△ 1,746,641	
退職給付引当資産取得支出	0	1,096,612	△ 1,096,612	
投資活動支出計(E)	1,200,000	4,043,253	△ 2,843,253	
投資活動収支差額(F)=(D)-(E)	7,800,000	△ 4,043,253	11,843,253	
III. 当期収支差額(G)=(C)+(F)	( 465,000 )	( 5,990,148 )	( △ 40,819,148 )	
前期繰越収支差額(H)	117,758,516	117,758,516	0	
次期繰越収支差額(I)=(H)+(G)	82,929,516	123,748,664	△ 40,819,148	

収支計算書に対する注記

- 資金の範囲  
資金の範囲には、現金預金、未収入金、前払費用・前受金及び立替金・預金を含むことになっている。なお、当期未残高は2.に記載する。及びである。
- 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科目	前期未残高	当期未残高
現金預金	110,422,125	115,960,235
未収入金	2,844,000	2,844,000
前払金	11,400,000	11,400,000
合計	124,666,125	130,204,235
未払金	3,616,789	3,696,569
前受金	982,000	942,000
預り金	2,304,487	829,011
仮受金	4,133	600,000
合計	6,907,699	6,969,571
次期繰越収支差額	117,758,516	123,748,664

II. 正味財産増減計算書  
(自平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

科目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産の部			
1. 經常増減の部			
(1) 經常収益			
① 基本財産運用収入	( 5,000 )	( 5,000 )	( 0 )
基本財産運用収入	5,000	5,000	0
② 受取会費	( 83,609,000 )	( 81,882,000 )	( 1,727,000 )
正会費収入	81,809,000	80,082,000	1,727,000
賛助会費収入	1,800,000	1,800,000	0
③ 事業収益	( 133,391,091 )	( 157,122,170 )	( △ 23,731,079 )
学術集會収益	19,062,000	20,650,000	△ 1,588,000
参加費	37,065,000	47,550,000	△ 10,485,000
施設費	25,387,231	35,784,295	△ 10,397,064
支部・地方会費	33,103,676	20,441,388	12,662,288
会誌発行収益	2,495,145	1,848,126	647,019
広告掲載料等	143,180	2,927,771	△ 2,784,591
書籍頒布代	3,519,390	3,776,190	△ 256,800
専門医制度収益	439,920	1,420,000	△ 980,080
専門医審査料	540,000	2,130,000	△ 1,590,000
専門医更新料	6,040,000	5,980,000	60,000
グループ解答用紙	760,000	652,000	108,000
雑収益	330,735	0	330,735
研修会費	1,557,393	6,500,000	△ 4,942,607
老人保健施設管理医師研修会	1,205,021	5,000,000	△ 3,794,979
④ 受取補助金	( 0 )	( 17,500,000 )	( △ 17,500,000 )
長寿医療研究開発費	0	17,500,000	△ 17,500,000
⑤ 受取寄付金	( 10,000,000 )	( 10,000,000 )	( 0 )
受取寄付金	10,000,000	10,000,000	0
⑥ 雑収益	( 49,982 )	( 181,227 )	( △ 131,245 )
受取利息	46,982	60,975	△ 13,993
雑収益	3,000	120,252	△ 117,252
經常収益計(A)	227,055,073	266,690,397	△ 39,635,324
(2) 經常費用	( 174,405,936 )	( 204,442,033 )	( △ 30,036,097 )
① 事業費用			
学術集會等開催事業費	62,530,495	57,554,215	4,976,280
学術集會運営費	9,898,065	21,004,611	△ 11,106,546
学術集會会場費	3,129,491	3,187,024	△ 57,533
地方会運営費	900,000	900,000	0
教育企画運営費	32,007,064	19,798,097	12,208,967
支部・地方会費	13,768,794	17,147,092	△ 3,378,298
会誌印刷製本費	4,012,609	4,573,247	△ 560,638
会誌通信運搬費	856,957	759,188	97,769
会誌編集費	10,521,256	14,636,526	△ 4,115,270
英文誌発行費			
専門医制度事業費	8,063,078	8,864,110	△ 801,032
専門医制度運営費	931,120	1,200,258	△ 269,138
試験実施費	0	0	0
電算機プログラム作成費	468,728	4,868,588	△ 4,399,860
研修会費用	0	5,000,000	△ 5,000,000
研究奨励事業費	600,000	600,000	0
研究奨励論文賞費	9,000,000	10,186,985	△ 1,186,985
研究奨励基金	0	17,500,000	△ 17,500,000
長寿医療研究開発費	1,746,150	1,379,000	367,150
加盟学術団体負担金	7,204,628	6,034,749	1,169,879
啓発事業費	435,150	3,435,022	△ 2,999,872
国際交流事業費	1,032,602	922,750	109,852
広報活動費	535,600	0	535,600
遊覧関係費	829,789	878,277	△ 48,488
会議費	3,701,775	2,551,649	1,150,306
旅費交通費	978,083	908,542	69,541
通信運搬費	945,016	381,112	563,904
印刷製本費	309,486	171,171	138,315
消耗品費	( 45,995,994 )	( 42,691,938 )	( 2,904,056 )
② 管理費用			
人件費	16,632,426	18,691,126	△ 2,058,700
福利厚生費	2,946,641	2,324,079	622,562
退職給付費用	3,299,938	4,505,068	△ 1,205,130
旅費交通費	1,971,493	1,769,294	202,199
会議費	655,326	643,507	19,819
通信運搬費	1,103,985	979,519	124,466
印刷製本費	821,487	548,152	273,335
消耗品費	4,211,129	183,481	4,027,648
光熱水料	654,105	632,685	21,420
賃借料	8,412,307	7,631,064	781,243
事務機器使用料	604,800	604,800	0
委託料	3,130,195	3,258,961	△ 128,766
電算機保守料等	888,545	871,824	16,721
振込手数料	230,000	130,000	100,000
加盟団体負担金	0	0	0
電算機プログラム作成費	33,617	98,378	△ 64,761
雑費	0	0	0
經常費用計(B)	220,001,930	247,133,971	△ 27,132,041
当期經常増減額(C)=(A)-(B)	7,053,143	19,556,426	△ 12,503,283
当期一般正味財産増減額(D)=(C)	7,053,143	19,556,426	△ 12,503,283
一般正味財産期首残高(E)	223,419,112	203,862,686	19,556,426
一般正味財産期末残高(F)=(E)+(D)	230,472,255	223,419,112	7,053,143
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額(G)	0	0	0
指定正味財産期首残高(H)	20,000,000	20,000,000	0
指定正味財産期末残高(I)=(H)+(G)	20,000,000	20,000,000	0
III. 正味財産期末残高(O)=(F)+(I)	250,472,255	243,419,112	7,053,143

III 貸借対照表

平成27年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金	313,196	507,237	△ 194,041
預金	115,647,039	109,914,888	5,732,151
未収金	2,658,000	2,844,000	△ 186,000
前払金	11,400,000	11,400,000	0
流動資産合計	130,018,235	124,666,125	5,352,110
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産合計	20,000,000	20,000,000	0
(2) 特定資産			
①退職積立資産	17,201,838	14,255,197	2,946,641
②国際関係費積立資産	18,302,589	18,302,589	0
③書籍刊行積立資産	7,401,501	7,401,501	0
④研究助成積立資産	27,322,034	27,322,034	0
⑤設備積立資産	17,098,175	17,098,175	0
⑥整備積立資産	5,500,882	5,500,882	0
⑦事務所費用積立資産	5,451,926	5,451,926	0
⑧支部・地方会積立資産	18,838,095	17,741,483	1,096,612
特定資産合計	117,117,040	113,073,787	4,043,253
(3) その他固定資産			
①建物附属設備	44,586	48,586	△ 4,000
②什器備品	190,803	220,420	△ 29,617
③電話加入権	216,000	216,000	0
④保証金	6,357,000	6,357,000	0
その他固定資産合計	6,808,389	6,842,006	△ 33,617
固定資産合計	143,925,429	139,915,793	4,009,636
資産合計	273,943,664	264,581,918	9,361,746
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	3,898,560	3,616,789	281,771
前受金	942,000	982,000	△ 40,000
預り金	829,011	2,304,687	△ 1,475,676
仮受金	600,000	4,133	595,867
流動負債合計	6,269,571	6,907,609	△ 638,038
2. 固定負債			
退職給付引当金	17,201,838	14,255,197	2,946,641
固定負債合計	17,201,838	14,255,197	2,946,641
負債合計	23,471,409	21,162,806	2,308,603
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
定期預金	20,000,000	20,000,000	0
指定正味財産合計	20,000,000	20,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	( 20,000,000 )	( 20,000,000 )	( 0 )
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	( 230,472,255 )	( 223,419,112 )	( 7,053,143 )
(うち特定資産への充当額)	( 99,915,202 )	( 98,818,590 )	( 1,096,612 )
正味財産合計	250,472,255	243,419,112	7,053,143
負債及び正味財産合計	273,943,664	264,581,918	9,361,746

IV 財産目録

平成27年3月31日現在

(単位:円)

科目	金額	備考
<b>I 資産の部</b>		
1. 流動資産		
(1) 現金	313,196	
(2) 預金		
みずほ銀行 本郷支店	55,025,778	
三井住友銀行 本郷支店	33,440,538	
三井住友銀行 春日町支店	271,265	
三菱東京UFJ銀行 春日町支店	112,137	
普通預金	88,849,718	
(3) 郵便	1,537,626	
郵便振替	221,786	
郵便振替	1,759,412	
(4) 定期預金		
みずほ銀行 本郷支店	1,000,000	
三井住友銀行 本郷支店	10,000,000	
三井住友銀行 春日町支店	1,439,410	
三菱東京UFJ銀行 春日町支店	2,598,499	
本郷郵便局	10,000,000	
定期預金	25,037,909	
(5) 未収金	2,658,000	
未収金	2,658,000	
(6) 前払金		
教育事業運営費	2,100,000	
研究会費	8,400,000	
研究費	900,000	
研究助成金	11,400,000	
流動資産合計	130,018,235	
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
定期預金	20,000,000	
みずほ銀行 本郷支店	20,000,000	
(2) 特定資産		
(1) 退職積立資産	17,201,838	
(2) 国際関係費積立資産	18,302,589	
(3) 書籍刊行積立資産	7,401,501	
(4) 研究助成積立資産	27,322,034	
(5) 設備積立資産	17,098,175	
(6) 整備積立資産	5,500,882	
(7) 事務所費用積立資産	5,451,926	
(8) 支部・地方会積立資産	18,838,095	
特定資産合計	117,117,040	
(3) その他固定資産		
(1) 建物附属設備	44,586	
(2) 什器備品	190,803	
(3) 電話加入権	216,000	
(4) 保証金	6,357,000	
(03)3814-8104	702号	
杏林ビル	702号	
その他固定資産	6,808,389	
固定資産合計	143,925,429	
資産合計	273,943,664	

IV 財産目録

平成27年3月31日現在

(単位:円)

科目	金額	備考
<b>II 負債の部</b>		
1. 流動負債		
(1) 未払金		
印刷費	94,176	
通信費	7,334	
集金	8,100	
製本費	356,809	
消耗品	1,531,440	
運搬費	13,599	
手数料	7,992	
活動費	70,200	
認定医制運営費	250,463	
国際交流事業費	185,510	
啓蒙費	1,026,000	
消費税	246,937	
(2) 前受金	942,000	
(3) 預り金	942,000	
源泉所得税	278,502	
住民税	368,100	
社会保険	182,400	
(4) 仮受金	829,011	
日本老人保健施設	600,000	
流動負債合計	6,269,571	
2. 固定負債		
(1) 退職給付引当金	17,201,838	
(2) 固定負債合計	17,201,838	
負債合計	23,471,409	

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- 固定資産の減価償却の方法  
建物付属設備及び器具備品…定率法による減価償却を実施している。
- 引当金の計上基準  
退職給付引当金…期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込方式による。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
<b>基本財産</b>				
定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000
小計	20,000,000	0	0	20,000,000
<b>特定資産</b>				
退職給付引当資産	14,255,197	2,946,641	0	17,201,838
国際関係費積立資産	18,302,589	0	0	18,302,589
書籍刊行積立資産	7,401,501	0	0	7,401,501
研究助成積立資産	27,322,034	0	0	27,322,034
施設積立資産	17,098,175	0	0	17,098,175
整備積立資産	5,500,882	0	0	5,500,882
事務所費用積立資産	5,451,926	0	0	5,451,926
支部・地方会積立資産	17,741,483	33,103,676	32,007,064	18,838,095
小計	113,073,787	36,050,317	32,007,064	117,117,040
合計	133,073,787	36,050,317	32,007,064	137,117,040

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
<b>基本財産</b>				
定期預金	20,000,000	(20,000,000)	(0)	—
小計	20,000,000	(20,000,000)	(0)	—
<b>特定資産</b>				
退職給付引当資産	17,201,838	(0)	(0)	(17,201,838)
国際関係費積立資産	18,302,589	(0)	(18,302,589)	—
書籍刊行積立資産	7,401,501	(0)	(7,401,501)	—
研究助成積立資産	27,322,034	(0)	(27,322,034)	—
施設積立資産	17,098,175	(0)	(17,098,175)	—
整備積立資産	5,500,882	(0)	(5,500,882)	—
事務所費用積立資産	5,451,926	(0)	(5,451,926)	—
支部・地方会積立資産	18,838,095	(0)	(18,838,095)	—
小計	117,117,040	(0)	(99,915,202)	(17,201,838)
合計	137,117,040	(20,000,000)	(99,915,202)	(17,201,838)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物付属設備	2,561,713	2,517,127	44,586
器具備品	5,527,983	5,337,180	190,803
合計	8,089,696	7,854,307	235,389

一般社団法人日本老年医学会

理事 津島 寛 殿  
理事 大石 亮 殿  
理事 山田 祐一郎 殿

監査報告書

私ども監事は、平成26年4月1日から平成27年3月31日までの当法人の事業年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私ども監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要会議に出席し、理事及び使用人等から財産の状況及び職務の執行について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について監査しました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。

② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事項は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は当法人の財産及び債務の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

平成27年5月29日

一般社団法人日本老年医学会  
理事長 大内 利義 殿

一般社団法人日本老年医学会

理事 津島 寛 殿  
理事 大石 亮 殿  
理事 山田 祐一郎 殿

公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告書

私ども監事は、平成26年4月1日から平成27年3月31日までの当法人の事業年度の公益目的支出計画実施報告書について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私ども監事は、理事及びその使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、書類等を閲覧することにより、公益目的支出計画実施報告書が、法令又は定款に従い、当法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているかどうかについて監査を行った。

2. 監査の結果

(1) 公益目的支出計画実施報告書の監査結果

公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、当法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

以上

1. 学術集会等の開催(定款第6条1項)

1) 日本老年医学会年次学術集会

第57回日本老年医学会学術集会

会期:2015年6月12日(金)~14日(日)

会長:下門顕太郎(東京医科歯科大学医学部附属病院老年病内科 教授)

会場:パシフィコ横浜(横浜市西区みなとみらい)

学会テーマ:良質な超高齢社会を拓く 一学際的研究の進展と深化をめざして

会長講演 老年医学の卒前・卒後教育

下門顕太郎(東京医科歯科大学老年病内科)

会長要望講演:老年医療における未来医療:基礎研究を臨床に生かすアケア創薬

森下 竜一(大阪大学臨床遺伝子治療学)

特別講演 三浦雄一郎(プロスキーヤー・登山家)

シンポジウム1 高齢者糖尿病:ガイドラインの策定を目指して

司会:荒木厚(東京都健康長寿医療センター糖尿病・代謝・内分泌内科)

横手幸太郎(千葉大学細胞治療内科学講座)

シンポジウム2 超高齢者の疫学(国際シンポジウム)

司会:広瀬信義(慶應義塾大学百寿総合研究センター)

シンポジウム3 循環器系の老化と骨化一骨粗鬆症と心不全の不思議な関係

司会:沢辺元司(東京医科歯科大学保健衛生学科)原田和昌(東京都健康長寿医療センター)

シンポジウム4 高齢者薬物治療ガイドライン

司会:秋下雅弘(東京大学加齢医学) 楽木宏実(大阪大学老年・腎臓内科学)

シンポジウム5 在宅医療委員会シンポジウム(日本在宅医学会との合同)

司会:葛谷雅文(名古屋大学地域在宅医療学・老年科学分野) 石垣泰則(城西神経内科クリニック)

シンポジウム6 待ったなし医療介護連携~地域包括ケアを目指して~

司会:遠藤英俊(国立長寿医療研究センター内科総合診療部) 神崎恒一(杏林大学高齢医学)

教育セッション

1. エントオブライフケア 飯島節(国立障害者リハビリテーションセンター)

2. 研究倫理 吉田雅幸(東京医科歯科大学)

3. 高齢者の肺結核 赤川志のぶ(国立病院機構東京病院)

4. 高齢者保険診療のピットフォール 藍真澄(東京医科歯科大学)

5. 高齢者高血圧診療 update 楽木宏実(大阪大学)

6. 高齢者の皮膚疾患 種井良二(東京都健康長寿医療センター)

7. 骨粗鬆症 update 細井孝之(健康院クリニック)

8. 非侵襲的消化管検査(カプセル内視鏡とMRI) 荒木昭博(東京医科歯科大学)

9. 心房細動のカテーテルアブレーション 平尾見三(東京医科歯科大学)

10. 顕微鏡的多発血管炎 湯村和子(国際医療福祉大学)

11. 高齢者のCKD 柏原直樹(川崎医科大学)

12. 高齢者整形外科疾患 大川淳敦(東京医科歯科大学)



13. 動脈硬化性疾患予防ガイドライン 寺本民生(帝京大学)

14. 高齢者の血液疾患 宮腰重三郎(東京都健康長寿医療センター)

15. 高齢者の心血管カテーテル治療 三角和雄(千葉西総合病院)

#### ハンズオンセミナー

1. ホットエコーの使い方 小林只(弘前大学総合診療部)  
2. 嚥下機能の評価(簡易検査から喉口頭内視鏡まで) 寺本信嗣(ひたちなか総合病院内科) 戸原玄(東京医科歯科大学歯学部高齢者歯科)

市民公開講座 高齢者サバイバル講座 7題

スポンサー共催企画 1 漢方実践セミナー

セミナー1 循環器領域における漢方～患者満足度を上げるために～

司会: 大石充(鹿児島大学心臓血管・高血圧内科学) 北村順(神戸海星病院内科)

セミナー2 高齢者の精神症状・不眠への対策 ―効果的な漢方薬の使い方―

司会: 神崎恒一(杏林大学高齢医学) 田上真次(大阪大学精神医学)

スポンサー共催企画 2 認知症診療の実践セミナー

セッション1 認知症を理解するために必要な老年医学の知識

司会: 大内尉義(虎の門病院)

セッション2 認知症診療の実践

司会: 浦上克哉(鳥取大学生体制御学講座) 大内尉義(虎の門病院)

スポンサーシンポジウム: ティベート 高齢者の抗凝固療法

1. 特別講演 高齢化社会における抗凝固療法～抗血小板薬との併用の問題点～

司会: 羽生春夫(東京医科大学高齢診療科) 阿古潤哉(北里大学循環器内)

2. パネルディスカッション

司会: 神崎恒一(杏林大学高齢医学)

ノバルティス老化および老年医学研究基金2013年度受賞者講演6題

<座学形式> 高齢者医療研修会

<ワークショップ形式> 高齢者医療研修会

一般演題 283題

2) 日本老年医学会地方学術集会

第26回日本老年医学会北海道地方会

第26回日本老年医学会東北地方会

第62回日本老年医学会関東甲信越地方会

第63回日本老年医学会関東甲信越地方会

第26回日本老年医学会東海地方会

第26回日本老年医学会北陸地方会

第26回日本老年医学会近畿地方会

第27回日本老年医学会中国地方会

第27回日本老年医学会四国地方会

第26回日本老年医学会九州地方会

3) 第19回高齢者介護・看護・医療フォーラム(定款第6条6項)

会期: 2015年10月25日

担当支部: 東北(荒井啓行 東北大学)

4) 第9回老年医学サマーセミナー(定款第6条7項)

主催: 日本老年医学会、国立長寿医療研究センター

会期: 2015年7月30日～7月31日(1泊2日)

開催地: 軽井沢プリンスホテル

対象: 医学部に在籍する学生20名まで。学会から交通費・宿泊費実費(5万円以内)を助成する。

目的: 老年医学の最前線を学ぶ

#### プログラム:

総論① 老年医学の基本的な考え方 国立長寿医療研究センター 鳥羽研二

各論① 高齢者医療におけるフレイル・サルコペニア 国立長寿医療研究センター 荒井秀典

基礎① 認知症の最前線(基礎医学) 国立長寿医療研究センター 柳澤勝彦

各論② 高齢者生活活動支援ロボット 国立長寿医療研究センター 近藤和泉

各論③ 骨折・転倒・骨粗鬆症・ロコモティブシンドローム 伊奈病院 石橋英明

各論④ 嚥下障害と誤嚥性肺炎 東邦大学 海老原覚

各論⑤ 地域包括ケアシステムと多職種連携 東京大学 飯島勝矢

各論⑥ 高齢者の多病とポリファーマシー 東京大学 秋下雅弘

各論⑦ 認知症の臨床 国立長寿医療研究センター 櫻井 孝

各論⑧ 非がん疾患における人生の最終段階の医療 梶原診療所 平原佐斗司

基礎⑨ インスリンシグナルをインターフェイスにした糖尿病、老化、認知症の新たな展開 国立長寿医療研究センター 田口明子

演習① 症例から学ぶ高齢医学 東京大学老年病科

5) 高齢者医療研修会(定款第6条7項)

座学形式の高齢者医療研修会(8時間程度)を開催する。

ワークショップ形式の高齢者医療研修会(8時間程度)を開催する。

2. 学会誌その他の出版物の刊行(定款第6条2項)

和文誌「日本老年医学会雑誌」

1) 定期号 第52巻2号～4号及び第53巻1号 合計4冊発行予定

2) Supplement 第57回学術集会講演抄録集として第52巻のSupplementを5月に発行予定

英文誌「Geriatrics & Gerontology International」

1) 月刊誌としてオンラインで年12回発行予定

3. 学会認定 老年病専門医、指導医、教育施設の認定(定款第6条3項)

1) 老年病専門医の認定

日本老年医学会認定 老年病専門医制度規則により第24回専門医試験を平成27年10月に東京都千代田区において実施する。受験には日本老年医学会認定 老年病専門医制度に規定する研修カリキュラムに従った老年病学臨床研修を要する。試験合格者を決定し認定する。

2) 指導医の委嘱

日本老年医学会認定 老年病専門医制度規則により提出される指導医申請書類の審査を実施し、委嘱する。

3) 教育施設の認定

日本老年医学会認定 老年病専門医制度規則により提出される認定施設申請書類の審査を実施し、認定する。

4) 平成27年3月31日において認定を受けた日から満5年を経る老年病専門医、指導医、認定施設に対し、日本老年医学会認定 老年病専門医制度規則により提出される書類の審査を実施し、更新を認定する。

4. 研究の奨励、研究業績の表彰(定款第6条4項)

1) 日本老年医学会優秀論文賞

和文誌: 日本老年医学会雑誌第52巻1号から4号(平成27年1月～10月発行)に掲載された論文の中から優秀な論文を

選考し、顕彰する。

2)GGI優秀論文賞

英文誌: Geriatrics & Gerontology International Vol.15 Issue1からIssue12(2015年発行)に掲載された論文の中から優秀な論文を選考し、顕彰する。

3)日本老年医学会賞(仮称)を創設予定。

5. 内外の関連学術団体との連絡及び協力(定款第6条5項)

1)加盟学術団体である日本老年学会の運営を、日本老年社会学会、日本基礎老化学会、日本老年歯科医学会、日本老年精神医学会、日本ケアマネジメント学会、日本老年看護学会と共に協議協力する。

2)日本老年学会として加盟している国際老年学協会 International Association of Gerontology and Geriatrics (IAGG)の活動に参加協力する。

3) The 1st NCGG-ICAH Symposium

会期: 2015年6月2日～3日

開催場所: 愛知県

6. その他、目的を達成するために必要な事業(定款第6条8項)

1)各種委員会

あり方委員会

財務委員会

雑誌編集委員会

GGI編集委員会

老人医療委員会

(ad hoc committee)高齢者薬物療法のがガイドライン作成のためのワーキンググループ

倫理委員会

利益相反委員会

介護連携検討委員会

教育委員会

専門医ワーキンググループ

(ad hoc committee)事例集検討委員会

学術プログラム委員会

学術賞委員会

優秀論文賞選考委員会

国際・渉外委員会

広報委員会

高齢者EBM委員会

選挙管理委員会

高齢者災害医療委員会

在宅医療委員会

高齢者に関する定義検討ワーキング

2)市民公開シンポジウム

平成27年度学術集会プログラムおよび地方会プログラムの中で、また単独企画として開催する。

平成27年度 収支予算書

(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

(単位:円)

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 増減, 備考. It details the budget for various activities, including income from publications, membership fees, and expenses for research, education, and administrative costs.